

高温に備える営農技術対策

平成29年5月1日
北海道農政部

高温に関する注意項目

- 1 遮光資材などを展張し、換気に努め、ハウス内の温度低下に努める。
- 2 急激な気温上昇により体調を崩しやすくなるので、適度に休息を取り入れる。

北海道地方では、5月2日頃から7日間以上、平年より+2.3℃以上高くなることが見込まれます。週間予報では、5月4日はかなり気温が上がり、内陸部で25℃を越えるところがある見込みです。

今後の高温に際して、作物や家畜の管理、農作業に従事する方々の体調管理に注意してください。

※ 4月27日、5月1日に札幌管区气象台から出された「高温に関する異常天候早期警戒情報」によると、5月2日頃および5月6日からの約1週間、かなりの高温になる確率が30%以上と見込まれており、適切に対応することが必要です。最新の気象情報に十分注意し、次の事項を徹底してください。

札幌管区气象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

第1 作物管理

- 1 高温で日射しが強い時は、遮光資材などを展張する。その場合、曇天時には速やかに被覆はやめて、過度な遮光にならないように注意する。
- 2 水稻では、遮光シートを過信せず、きめ細かな換気やかん水を行い、高温障害を避けるため育苗ハウス内の温度低下と徒長防止に努める。
- 3 園芸作物では、天窓や妻窓の設置や循環扇などによるハウス内換気を行う。ただし、外気が直接作物に当たらないように注意する必要がある。果菜類では、作物の生育や蒸散量に応じてかん水量を調節する。

第2 農作業安全

- 1 余裕を持った作業計画を樹立し、気温の高い時間帯を外して作業を行うなど環境に配慮する。
- 2 熱中症防止のため、作業前に水分を補給し、作業中は、定期的な休憩と、こまめな水分及び塩分の補給を心がける。また、通気性や吸湿性の良い涼しい作業着を着用し、保冷材を首もとに当てるなど身体を冷やす工夫をする。
- 3 ハウス作業は、日照により気温が大きく変化するので、体調がすぐれない時や高

温時は体力や身体能力に合った作業を心掛ける。

- 4 屋内では、遮光や断熱材の施行等により室温上昇を防ぐとともに、風通しを良くし換気に努める。

第3 畜舎及び鶏舎の飼養環境と畜舎周辺整備

突発的な気温上昇時には、換気扇等を積極的に活用し、暑熱ストレスに対応する。また、畜舎・鶏舎内の換気を十分に行い、湿度上昇を防ぎ、乾燥を促進する。水槽や飼槽を清潔に保ち、飼料採食量の向上や感染症の蔓延防止を図る。